



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 日華化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 江守 康昌
(コード番号 4463 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役執行役員 管理部門長
澤崎 祥也
(TEL 0776-24-0213)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2026 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

(百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	58,500	4,200	4,050	2,800	176 円 47 銭
今回修正予想 (B)	64,000	5,400	5,400	3,800	238 円 69 銭
増 減 額 (B－A)	5,500	1,200	1,350	1,000	—
増 減 率 (%)	9.4%	28.6%	33.3%	35.7%	—
(ご参考) 前期通期実績 (2025 年 12 月期)	55,705	3,847	3,849	2,384	150 円 28 銭

(2) 修正の理由

2026 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、以下の要因により、売上高及び各利益ともに前回発表予想を上回る見込みとなりました。

当期上期 (第 1 四半期及び第 2 四半期) におきましては、化学品事業で EHD*関連製品が好調に推移したことに加え、中国をはじめとする海外子会社の売上が伸長し、さらに期首予想時と比較した円安も寄与したことにより、売上高及び各利益ともに期初予想を上回りました。

当期下期 (第 3 四半期及び第 4 四半期) におきましては、中東情勢の不安定化による影響など外部環境の不透明感は継続するものと見込んでおりますが、化学品事業は上期に準じた推移となり、化粧品事業においても新商品の投入効果等により堅調に推移する見通しであります。

*E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

(注) 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績などは、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上